



令和6年度 農村RMO推進フォーラム（中国四国農政局）

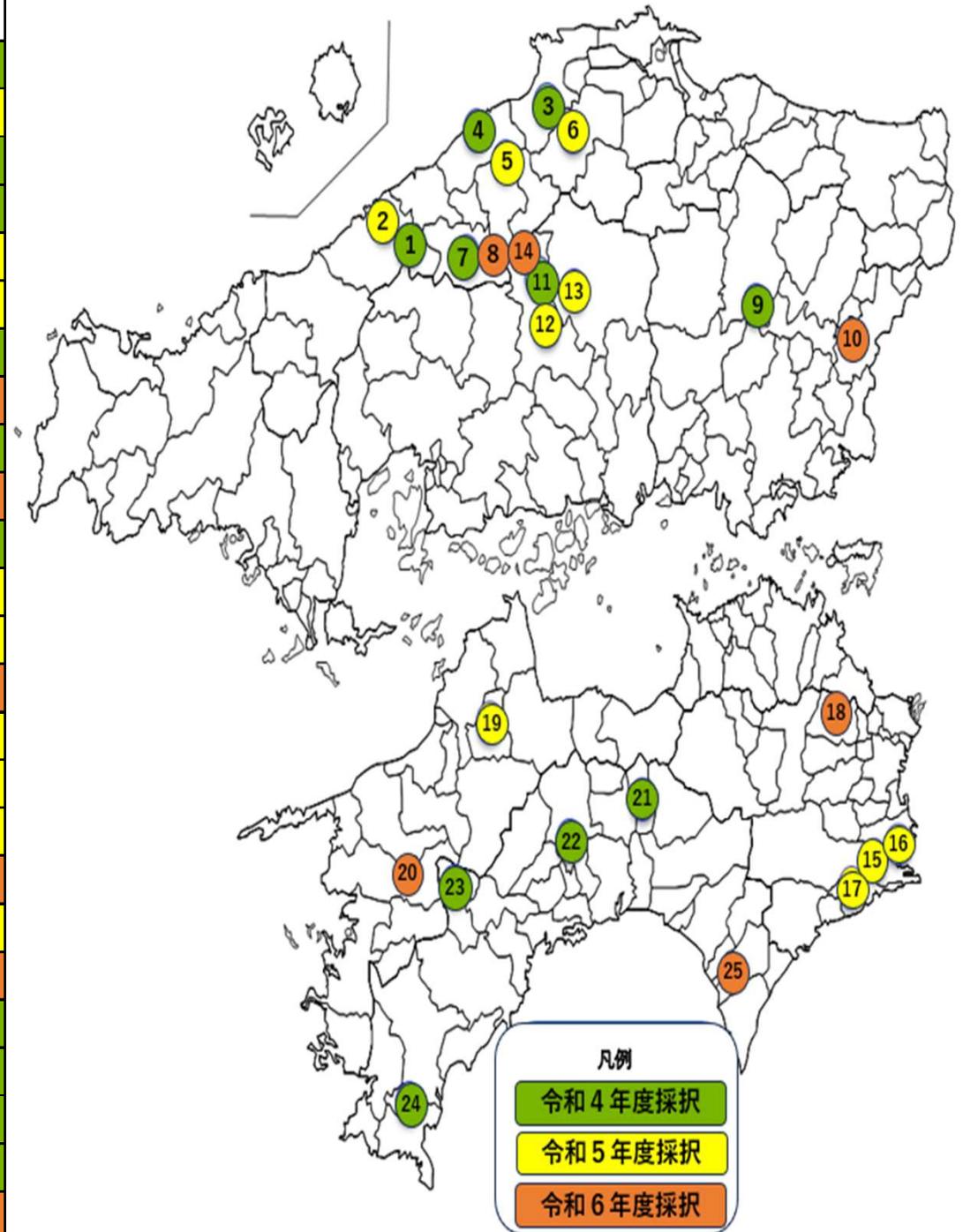
# 中国四国農政局管内の事例紹介

令和6年10月25日

農林水産省 中国四国農政局  
農村振興部 農村計画課

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	県名	市町村名	事業主体名	
1	島根県	浜田市	和田地区まちづくり推進委員会	
2		浜田市	今福まちづくり委員会	
3		出雲市	佐田地域づくり協議会	
4		大田市	久利・大屋地区小さな拠点推進協議会	
5		大田市	池田集落協定運営委員会	
6		雲南市	躍動と安らぎの里づくり鍋山	
7		邑南町	出羽地域運営協議会	
8		邑南町	口羽地区振興協議会	
9		岡山県	真庭市	吉縁起村協議会
10			美作市	みまさか農村RMO
11	広島県	三次市	石原集落地域振興協議会	
12		三次市	田幸地区町内会連合会	
13		庄原市	庄原市山内集落地域振興協議会	
14		三次市	布野町まちづくり連合会	
15	徳島県	阿南市	加茂谷RMO推進協議会	
16		阿南市	椿町農村RMO運営組織協議会	
17		美波町	赤松地区農村RMO推進協議会	
18		阿波市	奥阿波RMO推進協議会	
19	愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	
20		西予市	横林カスタマイズ	
21	高知県	本山町	本山町農村みらいの会議	
22		いの町	明るい柳野を創る会	
23		梶原町	集落活動センター「四万川」推進委員会	
24		三原村	(一社)三原村集落活動センターやまびこ	
25		北川村	北川村地域活性化協議会	



# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
1	和田地区まちづくり推進委員会	島根県浜田市	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先進地視察・研修会の開催</li> <li>●組織化も視野に入れた地域の担い手確保</li> <li>●収益性向上のため営農作業の効率化、コスト削減を検討</li> <li>●基盤整備(圃場整備)の検討</li> <li>●デジタル技術を活用した有害鳥獣対策</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農用地管理省力化及び転用作物の検討</li> <li>●地域資源(和田の桃等)の存続</li> <li>●空き家の有効活用の検討</li> <li>●先進地視察・研修会の開催</li> <li>●えごま省力化栽培の実証事業</li> <li>●デジタル技術を活用した外部への情報発信強化(地域魅力発信)</li> <li>●石見神楽の継承</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先進地視察・研修会の開催</li> <li>●デジタル技術を活用した生活支援、地域内コミュニティの強化</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
2	今福まちづくり委員会	島根県浜田市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者でも栽培・管理しやすい「さつま芋栽培」を普及による遊休農地の解消</li> <li>●地域計画策定により、将来の農用地地活用を模索</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域資源の起爆剤としてさつまいも栽培の普及を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今福まちづくり委員会の産業振興部会を中心に、産直もやい市を核とした、高齢者が栽培する野菜・果物・苗もの等の集出荷体制の構築</li> <li>・「さつま芋実証農園」を中心に、実証圃ハウスの設置、複数苗の試験的栽培の実施（適応する品種苗を選抜）、高齢農家に配布によるさつま芋栽培を普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証農園の暗渠排水工事、芋保管庫の整備。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●観光資源である鉄道土木遺産のブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今福線を守る会」を中心に、鉄道手拭い等を作成</li> <li>・宣伝活動を行うことにより、今福線応援団の呼び込みを図る。</li> </ul> </li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通弱者への持続可能な体制構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政への事業継続(あいのりタクシー等運行支援)の働き掛けを行うとともに、買物バス運行を継続。</li> </ul> </li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
3	佐田地域づくり協議会	島根県出雲市	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"><li>●事務局機能を補完する体制を整え、35の集落協定を中心に引き続き農地の維持を図る</li><li>●関係人口の創出による「草刈り応援隊」を組織し、既存組織の農地維持活動への支援</li><li>●スマート農業技術実証により省力化を推進</li><li>●圃場周辺部において比較的条件が良い耕作放棄地やその予備軍となる農地で、薬用作物や果樹、薬木の栽培を実証</li><li>●若い世代を対象に、有機栽培を中心とした農業教室を開催し、食の安全と命を守る農園づくり</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

## ●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"><li>●佐田に伝わる食文化・農林産物調査を実施し、活用計画を策定</li><li>●収集した情報を食育・木育へ活かすため、「新製品」を試作、販売ルートを構築</li><li>●「雲海の館」を佐田町民全体の直販所とするため、地域内農産物の効率的な集出荷システムを検討、顧客獲得のための方策や機能向上を検討</li><li>●商工業者との連携により、輸出を含めた中山間で生産する米の共販に頼らない販路拡大を検討</li></ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●「雲海の館」をプラットフォームに位置付け、商業者のノウハウを活用しながら、集落での集いの場の確保・整備を行い、地元農産品等の移動販売により買い物支援を構築</li><li>●介護予防と生きがいづくりに向けた農園を開設し、外出支援と連携して農福連携の取り組みを強化</li><li>●活動を通じて集まる高齢者の情報を関係者間で共有し、高齢者が佐田で生活を続けられる環境づくりのため、住宅周辺の農地、宅地等の管理をサポートする「生活支援お助け隊」を結成</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
4	久利・大屋地区小さな拠点推進協議会	島根県大田市	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手確保に向けて、地元小学生と連携して農業体験を実施、新規就農者の受け入れも実施</li> <li>●農地保全の検討セクションを設けてワークショップや検討会を開催、農地保全マップを作成し、集落として維持管理する農地を選定</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商工会議所等の経営支援機関の助言を受けながら、一定の営利が出て安定的な事業となる地域資源を活用した商品を開発</li> <li>●地域の女性たちの活躍の場へつながるよう、新商品の加工や産直市場等の仕組みづくり</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援は、小さな拠点のモデル事業で実施中</li> <li>●草刈り、鳥獣害対策、除雪なども含めた体制の整備検討し、10年後も安心して住み続けることのできるまちづくり</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
5	池田集落協定運営委員会	島根県大田市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効率化・省力化に向けた技術導入やマッチングの仕組みをつくる</li> <li>●耕作放棄地について、GI登録されている三瓶そばの生産に向けて検討・実証を実施</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自家農園における情報収集（生産物調査）を実施</li> <li>●チャレンジマーケットの常設化</li> <li>●加工品製造について、課題把握、ニーズ把握を実施し、商品化に向けた取組を実施</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャレンジマーケットの常設化</li> <li>●食事ができる機会、ご飯が購入できる機会を検討</li> <li>●関係する団体や活動と連携すべきポイントを整理</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
6	躍動と安らぎの里づくり鍋山	島根県雲南市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鍋山地区集落連携協議会（令和2年発足）の連携強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域等直接払制度に取り組む全組織、鍋山担い手ネットワーク協議会および躍動鍋山で構成</li> </ul> </li> <li>●草刈り等の作業支援体制の整備、拡充</li> <li>●鳥獣害被害の減少に向けた具体的対策を検討し実践</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農産物の産直市等への集荷及び出荷体制の確立、集荷拠点の基盤整備</li> <li>●高齢化や担い手不在等により耕作が困難となった農用地の管理</li> <li>●定年帰農者等の新たな生産者への農用地の提供（または貸与）</li> <li>●栽培にかかる技術講習会の開催</li> <li>●生産者の組織化、通年での生産、新たな特産品の開発などにより安定的な生産・出荷が可能な体制を整備し、売上を拡大</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区計画の基本方針である「みんなで安全で安心に、いきいきと暮らせる鍋山」を継続的に実現</li> <li>●農業者だけでなく地域住民一体となり、地域の高齢者の見守りや生活支援、また農業生産を通じた生きがいに取り組む。</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
7	出羽地区運営協議会	島根県 邑智郡邑南町	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域計画」策定に併せ、出羽地区の農地活用図作成に向け大胆に提案し、最終形を図化</li> <li>●園芸転換(高収益化、農家誘致)、耕畜連携等による粗放的管理(放牧・牧草・飼料作物)や堆肥活用の実践</li> <li>●鳥獣害対策の強化、管理しやすい農地への転換(基盤整備の検討)</li> <li>●畦畔、用排水路、道路法面等の管理作業の共同化</li> <li>●園芸区画の整備や田舎暮らしモデルの提示により新規就農者の誘致</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き家活用推進機能を再構築し田舎暮らしモデルの継続的な提供</li> <li>●町有施設の指定管理等を検討し、地域生活環境の維持を図る</li> <li>●農地や住環境維持のための里山活用をすすめ、薪ストーブ等身近な再生可能エネルギーの利用促進</li> <li>●生涯現役として農産物の生産に関わる人や非農家等の営農を支援するシステムの構築により農福連携による地域資源(農地)の有効活用。</li> <li>●耕畜連携による循環型農業の推進を図るため、堆肥活用等を進めるためのシステム構築</li> <li>●グリーンスローモビリティや電動自転車を導入し、地域内循環・トレール環境を整え滞在時間を延ばすことで関係人口確保</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●交通システムに関する方向性を確定、出羽スタイル（道の駅出荷・道の駅からの関係人口誘客と地域交通の融合等）貨客混載・確立にむけ実証</li><li>●農業者や生活者の共通課題である雑草処理の効率化に向け、リモコン草刈り機等の導入</li><li>●作業機器のオペレーターやITリテラシーの獲得に向けた資格取得等の支援を行い、地域維持活動に参加する人材の確保と活用促進</li><li>●デジタル技術の活用により、地域通貨や人材バンクにアクセスしやすい環境を整備するとともに人材・通貨の管理業務の効率化を図る</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
8	口羽地区運営協議会	島根県 邑智郡邑南町	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	●多面的事業、中山間直払い事業の事務を一元化することにより、集落管理から口羽地区全体で共同管理する仕組みを構築、耕作放棄地発生防止の取り組みを展開する実行組織を創設
地域資源活用	●農産物、山川草木を活用した製品の直販開拓だけでなく、担い手不在農地や空き家も地域資源と見立て、都市地域の人々との体験交流により縁を深め、里山空間を共有管理する仕組みづくり
生活支援	●農業分野、福祉分野、社会教育分野、集落自治分野など多様な活動団体の機能を統合した農村RMOを整備することにより、持続可能な地域運営システムを創出

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
9	吉縁起村協議会	岡山県真庭市	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GIS等を活用し最適土地利用の検討を進める。自走式ラジコン草刈り機の導入による作業の省力化や粗放管理も視野に検討を進め、土地利用の範囲と幅を拡大</li> <li>●水路等の修繕に関し、積み立て等長期の対策について集落協定と話し合いを進める</li> <li>●広域に防護柵の設置等、行政と連携し獣害対策を計画</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特産品導入の検討、継続した取り組みとなるよう収益性を検討しながら、生産・加工・販売に至る体制を構築</li> <li>●インターネット販売を視野に入れた販売ルートの構築</li> <li>●民間会社との連携による中ショウガの契約栽培、SOFIX技術による連作可能な農地づくりの実証、地域内のバイオマス資源を肥料や土壌改良材として活用する循環型営農を検討</li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●無人キャッシュレスストアについて、利用者の利用状況を分析し、取扱商品の種類や仕入れ頻度等を調整し、効率的な運営を検討</li><li>●市内中心街と連携した他店舗展開、商品配送のスキームを検討</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
10	みまさか農村RMO	岡山県美作市	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能広域活動組織に加え中山間地域等直接支払連携組織を一本化させ、各集落の事務作業の簡素化を図り、農用地保全活動に集中している体制を構築</li> <li>●負担の大きい草刈り作業に関し、広域展開可能な人材をの募集、ラジコン草刈機、自走式草刈機等の機器の導入</li> <li>●人材の募集結果により、専門のオペレーター集団を編成し、共同作業困難集落への派遣を検討</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一部農家で栽培されている地域特産物を地域全体に広げるため、生産力向上のための栽培講習会を開催</li> <li>●販路拡大のため、地域活性化起業人、民間会社との連携により商談会を開催</li> <li>●棚田遺産等の地域資源を観光資源として利用するために受け皿組織を育成し、現地見学ツアー等のイベントを開催</li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●一部集落で利用されている移動型販売者による小売サービス事業について、潜在的需要の調査を行い、ニーズに応じた事業エリアの拡大を検討</li><li>●買い物難民が発生することのないよう官民協働で対策に取り組む</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
11	石原集落地域協議会	広島県三次市	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能及び中山間直接支払の交付金等を活用し施設の強靱化を推進</li> <li>●効率的な機械作業が可能となるよう基盤整備を推進</li> <li>●農業経営者としてマーケティングや労務管理等を意識できる経営感覚を養成</li> <li>●都市住民等と連携した交流農業、地産地消の拡大による所得向上</li> <li>●原材料の共同購入による生産コストの削減</li> <li>●ラジコン草刈りの利用による草刈り労力の軽減</li> <li>●人・農地プランの見直しと集落一体となった鳥獣被害防止対策を図り、活用農地の適正管理と担い手への集積</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

## ●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"><li>●直売所等への共同出荷のための軒先出荷を推進</li><li>●住民の匠の技や生き方を活用した、四季折々の緑農体験交流プログラムにより交流人口を拡大</li><li>●希薄になっている地域住民同士の交流と、学びによる生きがい・やりがいを目指し、「石原塾」を開講</li><li>●高幡観音へのアクセス道が整備されたのを好機として、歴史を紐解き新たな物語を創造し、参拝人口を拡大</li><li>●集落の厄介者となっている孟宗竹を活用したメンマづくりを6次産業の突破口に、複数の加工品づくりを推進</li></ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●民生委員、地区社協担当、地区振興区長等と連携し、訪問カレンダーを作成し、高齢者世帯の安心暮らしを支援</li><li>●商品チラシ等を作成し、日用品の調達を支援</li><li>●集落事業者対象のプレミアム集落商品券を発行し、買い物を通じた集落への出歩きを促進</li><li>●臨床心理士等との連携を図り、集落内で気軽に養育などの相談ができる機会づくりを推進</li><li>●子どもの農業体験を通じた親や子ども同士のコミュニケーションの機会づくりを推進</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
12	田幸地区町内会連合会	広島県三次市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間直接支払制度等の広域化による担い手と地域が連携した農地保全の新たな仕組みづくり(二階建て方式)</li> <li>●法人間連携の構築による地域農業維持・発展の取組</li> <li>●人材バンク制度による担い手の確保</li> <li>●地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施による農地保全</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市住民などとの交流事業によるツナガリ人口の拡大や販路拡大による所得向上</li> <li>●不作付地を活用した地域住民による農業生産の仕組みづくり</li> <li>●地域の施設を活用した直売による地産地消の推進</li> <li>●空き家を有効活用した交流事業や定住対策の推進</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民生委員、地区社協などと連携した高齢者の暮らしの支援</li> <li>●買い物や通院が困難な住民に対する交通システム構築による支援</li> <li>●小・中学校等と連携した交流事業の実施</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
13	庄原市山内集落地域振興協議会	広島県庄原市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能及び中山間直接支払の交付金を活用し、施設の強靱化を推進</li> <li>●中山間地域で活用できるスマート農業技術の導入を図り、農作業労務の軽減・省力化を推進</li> <li>●効率的な機械作業が可能になるよう、基盤整備を推進</li> <li>●農業経営者として、マーケティングや労務管理等を意識できる経営感覚を養成</li> <li>●都市住民等と連携した交流農業、地産地消の拡大による所得向上</li> <li>●農業者の所得向上を図るため、付加価値を付けた米の海外輸出を推進</li> <li>●地域計画の立案と集落一体となった鳥獣被害防止を図り、活用農地の適正管理と担い手への集積を推進</li> <li>●地域内の狩猟実施者の連携を図り、他地域の先進的取り組みの研修や、狩猟技術の習得を推進</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

## ●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"><li>●集落の厄介者となっている竹林の整備と合わせ、整備後に発生する竹の廃材(竹チップ・竹粉)の有効活用</li><li>●牛糞堆肥と混合・発酵させ、土壌改良材(保水性・透水性・保肥性の改善、酸性土壌の中和)として圃場に散布</li><li>●竹堆肥による「J-クレジット制度」等への申請・認可(実証研究等により削減量の証明が必要)</li><li>●竹堆肥により栽培した地域のブランド米「里山の夢」を使った売れる農産物の開発と6次産業化で、働く場の創出につながるスモールビジネスを推進</li><li>●一度閉鎖した青空市場を再生し、農産物の販売拠点とする</li><li>●女性生産者掘り起こしの為、栽培技術や機械作業の研修を実施</li><li>●獣害に強い作物栽培等で遊休農地の活用を図る</li></ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●「おたがいさまネット」による地域の高齢者・一人暮らしの見守り活動を推進</li><li>●「定住促進プロジェクト」による地域外からの移住者の受入れを図ると共に、空き家の整備等を推進</li><li>●子供の農業体験を通じた食教育と後継者育成を推進</li><li>●地域の歴史遺産・祭りの復活・都市住民との農業交流等による魅力発信</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
14	布野町まちづくり連合会	広島県三次市	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間直接支払制度等による担い手と地域が連携した農地保全の新たな仕組みづくり</li> <li>●法人間連携の構築による地域農業維持、発展の取組</li> <li>●高齢世代による新たな農産品への取り組み</li> <li>●米以外の農産品等への取り組み</li> <li>●地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施による農地保全</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市住民等との交流事業による関係人口の拡大を図り、農産品等の販路拡大による所得向上を目指す</li> <li>●林産物を充実させる取り組み</li> <li>●空き家の有効活用や定住対策</li> <li>●神楽による交流事業の開催</li> <li>●史跡を活用する事業実施</li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●民生委員、地区社協等と連携した高齢者の暮らしを支援</li><li>●現在の生活交通について利用者のニーズ調査と改善</li><li>●配食サービスの充実（各戸への弁当配布だけでなく、ボランティアと連携した会食等の開催）</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
15	加茂谷RMO推進協議会	徳島県阿南市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能支払交付金の活動組織、中山間地域等直接支払交付金の集落協定と連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業の受託等による各組織の労力軽減、集落間連携の調整、外部人材の活用により継続した取組体制を構築</li> </ul> </li> <li>●水管理、農用地の保全及び鳥獣被害防止設備の見回り対応等についてICTを活用し、維持管理を省力化・高度化</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●加茂谷地域のブランドであるチンゲンサイ、すだち、イチゴ他の「儲かる農業」の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者・移住就農者への技術継承</li> <li>・ICTを活用したスマート農業用ハウスの導入</li> <li>・県、市と連携し、就農及び定住人口の増大を図る。</li> </ul> </li> <li>●安定した自主財源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで行ってきた遍路道、特産品及び観光資源を活かしたイベントについて、集客力の強化、収益性の確保についても検討、実践</li> </ul> </li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<p>●地域が安心して暮らせる魅力ある農村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・阿南市と連携・協力により、通学・買い物といった移動支援制度を導入するため、既存公共交通との共存など、地域の実情を踏まえた制度の在り方について検討を行い、導入計画に基づき実証</li><li>・移住者、地域への訪問者ー地域住民間で交流できる拠点の整備し、特産品の販売や子育て支援や就農環境を巡る各種課題を「相談しやすい環境」を構築</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
16	椿町農村RMO運営組織協議会	徳島県阿南市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地の適正管理の推進、活用の体制の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金の活動組織との連携による遊休農地の解消、耕作放棄地の普及、粗放的管理の導入</li> </ul> </li> <li>●人口減少社会に対応した農業の在り方について検討、実証               <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用排水路などの維持管理の省力化・高度化や鳥獣害対策のICT導入</li> <li>・担い手農家が委託している農地におけるスマート農業の導入</li> </ul> </li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外貨獲得の手段の多様化による地域の魅力向上、定住・関係人口を増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業導入と合わせ女性農業者による施設園芸の本格的導入</li> <li>・六次産業化の推進</li> <li>・地域直売所の販売力強化</li> </ul> </li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●移動支援や買い物支援の強化を図り、地域直売所を活用したコミュニティ空間の活用を促進</li><li>●同施設を拠点として移動販売支援や買い物支店の取組について導入推進</li><li>●ICTを活用した高齢者見守りサービスの導入による全ての住民が安心して暮らせる地域作り</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
17	赤松地区農村RMO推進協議会	徳島県 海部郡美波町	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交付金事務を協議会が担う体制づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域等直接支払交付金の集落協定、多面的機能支払交付金の活動組織と連携し、組織の広域化及び事務手続の一本化</li> </ul> </li> <li>●耕作放棄地の発生抑制、優良な農地の維持・保全及び将来に向けて農業が継続可能な体制の構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各組織の労力軽減、集落間連携の調整、効率的な農地利用計画の策定と外部人材の活用を推進</li> </ul> </li> <li>●人口減少社会に対応した農村集落の在り方について検討、実現               <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家のICTに関する知見が十分浸透していない現状において、理解の醸成</li> <li>・将来的に農業用排水路などの維持管理の省力化・高度化やスマート農業の導入の推進</li> </ul> </li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

## ●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"><li>●県と連携して「稼げる農業」の推進<ul style="list-style-type: none"><li>・農産物の新規作物導入、六次化の品目増加について検討</li><li>・地域の伝統産業である「樵木（こりき）林業」により産出された樫の薪炭化の実践</li><li>・地域内における産直市の開業・販売</li></ul></li><li>●定住・交流人口の増大<ul style="list-style-type: none"><li>・「赤松神踊り」、「赤松神社奉納吹筒花火」、人形浄瑠璃「赤松座」等の地域資源を活用し、農泊推進やサテライトオフィス誘致</li></ul></li></ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●「買い物難民」「移住難民」の発生を防止し、自家用車がなくとも住み続けることができる持続可能な農村集落づくり<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者単身世帯の買い物支援、移動支援及び農産物の集出荷支援（混載含む）を強化</li></ul></li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
18	奥阿波RMO推進協議会	徳島県阿波市	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間地域等直接支払交付金の集落協定と連携し、集落間連携の調整、外部人材の活用により、継続した取組体制の構築を図る</li> <li>●水管理、農用地の保全、鳥獣被害防止設備の見回り対応のため、ICTを活用し、維持管理の省力化・高度化を図る</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遍路道、特産品、観光資源を活かしたイベントを積極的に活用し、関係人口を増大させ、地域の自主財源の確保を図る</li> <li>●「稼げる農業」の推進に向け、農産物の新規作物導入、六次化の品目増加を検討し、地域内における産直市の開業・販売を推進</li> <li>●市と連携した定住促進を図る</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「買い物難民」「移動難民」の発生を防止し、自家用車がなくても住み続けることができる持続可能な農村集落を目指し、高齢者単身世帯の買い物支援、移動支援、農産物の集出荷支援を強化</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
19	奥松瀬川地区農村活性化協議会	愛媛県東温市	R5～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継続性のある農地の維持管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>・現存する耕作放棄地及び地域計画に基づいた今後10年以内に耕作放棄地になる予定の農用地を優先し、地域運営組織が管理する農用地として保全・管理を実施</li> <li>・水稻よりも反収がよく、栽培管理が高齢就農者や新規就農者であってもしやすい作物を選定</li> </ul> </li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象エリア内に現存または新植される農作物（果樹、野菜等）を地域資源と定義し、6次産業化を目指す</li> <li>●加工場の確保、原料及び加工品の保存、様々な作物に活用できる汎用性の高い加工品目の選定、販売先の開拓等、農業収益を確保するための実証を実施</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者や女性も参画できるように、体への負荷が少ない農作物の栽培管理及び加工管理体制の構築</li> <li>●慣れ親しんだ地域で働き、地域住民が交流を深められる生活支援システムの検証</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
20	横林カスタマイズ	愛媛県西予市	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「日本型直接支払制度」に取り組む活動組織や集落協定の事務を集約させ、安定的・継続的に就農者の地域資源保全管理に対する負担軽減・農業収入の安定化を図る</li> <li>●鳥獣害防止対策や防災減災対策を検討</li> <li>●耕作放棄地になりうる農地や耕作放棄地化した農用地において、農業体験メニューの創設や、新たな地域資源となりうる作物を栽培し、観光農園・新規就農者や担い手の研修農園として整備し、定住人口・交流人口・関係人口の増加を目指す</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の特産品である原木椎茸を活用した加工品の販路を新規開発させ、営農意欲や収入増加を目指す</li> <li>●地域や観光・研修農園で栽培する新規作物も活用し、オリジナル新商品や活用メニューの開発、地域をブランド化させ、住民に「自身」を醸成させ、活力を与える</li> </ul>

## ●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●貨客混載タクシーを導入し、地域住民の「足」を確保、安心して生活できる環境整備を進める</li><li>●様々な取り組みを継続して実施していくために、支え担える組織を創設し、地域住民が安心・安全・幸福に生活していけるベースを構築</li></ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
21	本山町農村みらい会議	高知県 長岡郡本山町	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手農家が経営を継続できるよう、労働力補完や農業機械の共同化などの仕組みを検討</li> <li>●農地保全の取り組みを進めるため、農地保全計画の検討</li> <li>●地域のまとまりを形成するため交流の場づくりなど上記取り組みと関連させて実施</li> <li>●距離の長い農業用水路において、遠隔で水位確認や水門操作を行い、水路の維持管理負担を軽減</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係人口の拡大などにつなげるため、地域資源やイベントなどの情報発信の方法を検討</li> <li>●地域資源の磨き上げ、景観保全などにも取り組む</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、買い物支援や見守り活動の試行、共助の仕組みづくり（お仕事バンク）などを検討</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
22	明るい柳野を創る会	高知県 吾川郡いの町	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地保全の将来ビジョン（集落戦略など）の実践と見直し</li> <li>●農地維持のための共同作業の継続</li> </ul>
地域資源活用	●地域農産物を活用した新たな商品開発や既存商品のブラッシュアップを目指し、レシピの検討や試作品づくりを実施
生活支援	●高齢者を対象に見守り活動、地域の食材を使った配食サービス、地区の防災活動の取組を継続

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
23	集落活動センター「四万川」推進委員会	高知県 高岡郡梶原町	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間地域等直接支払等を活用した農地保全活動を継続</li> <li>●アシストスーツを活用した共同作業の省力化の実証</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キジ生産部会による生産拠点の形成と商品開発の実証                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターが事業継承し、飼育力・加工能力強化のため、飼育施設、加工施設を建築予定（県単補助）</li> </ul> </li> <li>●新商品の開発を行い、販路拡大</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安心安全サポート（農産物の集出荷と併せた高齢者の見守りなど）の実施に向けた検討・試行</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
24	(一社)三原村集落活動センター やまびこ	高知県 幡多郡三原村	R4～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中山間地域等直接支払及び多面的機能支払を有効活用し、活動を継続</li> <li>●地域で農地・農業施設を将来にわたって維持していくための対策を話し合い</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「三原米のブランド化の推進」により、農地を守り担い手を確保</li> <li>●地域の魅力を発信し、移住促進等につなげるため、体験メニュー（ポタリング）の開発を行い、都市農村交流の取組を拡充</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●買い物拠点施設の継続支援、集いの場「やまびこカフェ」の運営（本交付金対象外）</li> <li>●防災意識の啓発や、緊急時の高齢者等に対し避難施設等への誘導補助（本交付金対象外）</li> </ul>

# 管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
25	北川村地域活性化協議会	高知県 安芸郡北川村	R6～

## ●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●直払いの一部をサービス事業体に交付することでスマート農機による散布委託を安価に利用できるメリットを農業者に認知してもらうことにより、引き続き効率的なゆず栽培基盤整備を実施</li> <li>●スマート農機の利用拡大や生産効率向上へ向けてスマート農機シェアリングの実用化に向けた推進活動を実施</li> </ul>
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゆず農業と教育の連携活動の深化のため、これまでに様々な実証を行ってきたスマート農業と村の子どもたちとが関わり合う環境を整備し、北川村ならではの魅力ある農業教育を体系化する</li> <li>●ゆず収穫作業等を通じた交流人口の拡大を図る</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●より安定的な支援環境の整備にあたり、スマート農業遠隔監視拠点を利活用し、マルシェを常設化することで生活に必要な物品の販売・供給の安定化を図る</li> </ul>

# 66-5 農山漁村振興交付金のうち 中山間地農業推進対策

【令和7年度予算概算要求額 10,388 (8,389) 百万円の内数】

## <対策のポイント>

中山間地域等において、地域別農業振興計画に基づき、収益力向上や販売力強化等に関する取組、複数の集落の機能を補完する農村RMOの形成、デジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、棚田地域において、地域振興活動や維持・管理労力を軽減するための簡易な整備を支援します。

## <事業目標>

中山間地域等の特色をいかした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（350地区〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 中山間地農業ルネッサンス推進事業

- ① 中山間地農業ルネッサンス推進支援：地域の特色をいかした取組等を支援します。
- ② 元気な地域創出モデル支援：収益力向上や販売力強化等に関する取組、デジタル技術の導入・定着を支援します。  
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】

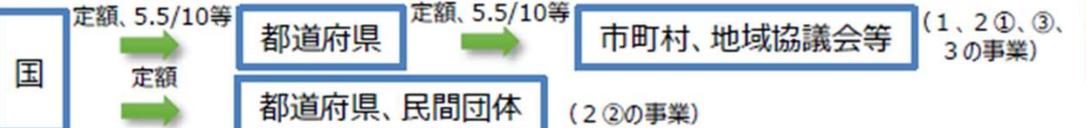
### 2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

- ① 農村RMOモデル形成支援：協議会が行う調査、計画作成、実証等を支援します。  
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】 ※地域計画連携タイプは年基準額1,200万円
- ② 農村RMO形成伴走支援：中間支援組織の育成や農村RMOの立上げをコーディネートする取組等を支援します。
- ③ 農村RMO活動着手支援：農村RMOの形成につながる取組を支援します。  
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限50万円）】

### 3. 棚田地域リノベーション対策事業

- ① 棚田地域振興活動支援：棚田保全のための地域振興活動等を支援します。
- ② 棚田地域振興促進整備：棚田地域における維持・管理労力を軽減するため、法面の修復や小規模な区画整理、用排水路、耕作道の整備等を支援します。  
【事業期間：上限3年間、交付率：①は定額（上限100万円）、②は5.5/10等】  
※対象地域：8法指定地域等

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1. ② 元気な地域創出モデル支援

<b>ア 収益力向上</b> 高収益作物導入 	<b>イ 販売力強化</b> 高精度栽培技術の導入 	<b>ウ 農用地保全</b> 棚田の保全 	<b>デジタル技術の導入・定着</b>  《栽培技術のeラーニング》
<b>エ 複合経営</b> ミニトマト栽培と加工品の開発 	<b>オ 生活支援</b> 買い物支援・見守り 	<b>+</b> 《テレビ画面で買い物支援》 	

### 2. 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

<b>① 農村RMOモデル形成支援</b> 農用地保全 	<b>生活支援</b> 地域資源活用 	<b>③ 農村RMO活動着手支援</b> 生活支援に着手 	<b>遊休農地活用を開始</b> 
------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------	----------------------

② 農村RMO形成伴走支援（中間支援組織の育成、農村RMOの立上げをコーディネートする取組等）

### 3. 棚田地域リノベーション対策事業

② 棚田地域振興促進整備（ハード）

 崩落した法面の修繕 （安全性の確保、国土・景観の保全）	 土水路にU字溝を設置 （水の流出防止、泥上げ等の労力軽減）	 法面小段の設置 （除草作業の安全性確保）
------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------

① 棚田地域振興活動支援（ソフト）による活力創出

社会課題解決や農の向上を推進した地域活性化  
デジタル技術の導入・定着を推進する取組

「くらしづくり」を推進

棚田を核とした地域振興

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8398）

**66-6 農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち  
農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業**  
【令和7年度予算概算要求額 10,388（8,389）百万円の内数】

**<対策のポイント>**  
中山間地域等において、複数の集落の機能を補完する農村RMOの形成を推進するため、むらづくり協議会等が行う実証事業やデジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる中間支援組織の育成や農村RMOの裾野を広げるための取組等を支援します。

**<事業目標>**  
農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区 [令和8年度まで]）

**<事業の内容>**

- 1. 農村RMOモデル形成支援**  
むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る**将来ビジョン策定**、ビジョンに基づく**調査、計画作成、実証事業**等の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組を支援します。  
【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数）） ※地域計画連携タイプは年基準額1,200万円】
- 2. 農村RMO形成伴走支援**  
農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成**等を通じた都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や農村RMOの**立上げ**をコーディネートする取組、各地域の取組に関する**情報・知見の蓄積・共有**、**研修**等を行う**全国プラットフォーム**の整備を支援します。
- 3. 農村RMO活動着手支援**  
農村RMOの裾野を広げるため、中山間地域の**小規模集落**等で、**農村RMOの形成につながる取組**を支援します。  
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限50万円）】

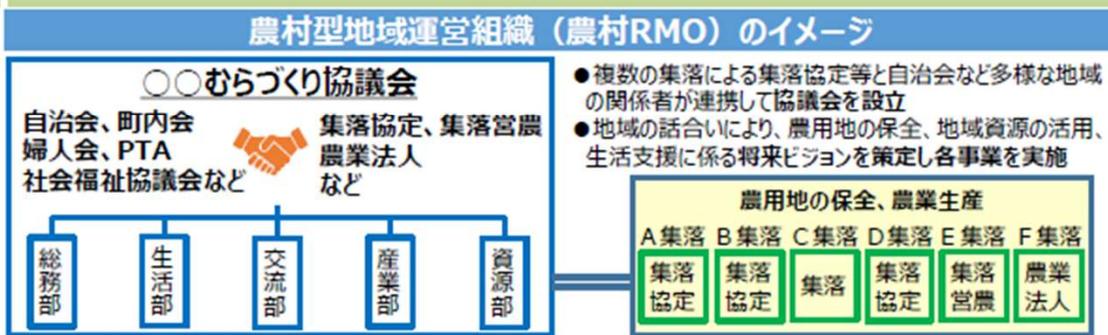
**農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）**  
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした**経済活動**と併せて、**生活支援**等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

※対象地域：8法指定地域等

**<事業の流れ>**



**<事業イメージ>**



**農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業**

**農村RMOモデル形成支援**

農用地保全、地域資源活用、生活支援

スマート農業機械の実証、食材の地域内循環、テレビ画面で買い物支援

ビジョン策定やデジタル技術の導入・定着を含めた調査・計画作成・実証等

**農村RMO活動着手支援**

生活支援に着手、遊休農地活用を開始

これまでの活動から一歩踏み出し、農村RMOの形成につながる取組を実施

**農村RMO形成伴走支援**

【都道府県単位の支援】

中間支援組織がビジョン作成に関する一連の作業を段取り

農村RMOの立上げをコーディネート

【全国単位の支援】

農村RMO研究会による情報・知見の蓄積・共有、研修等の支援

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8399）